

サイドブロック

NETIS登録:QS-140005-VE

プレキャスト小口止めブロック

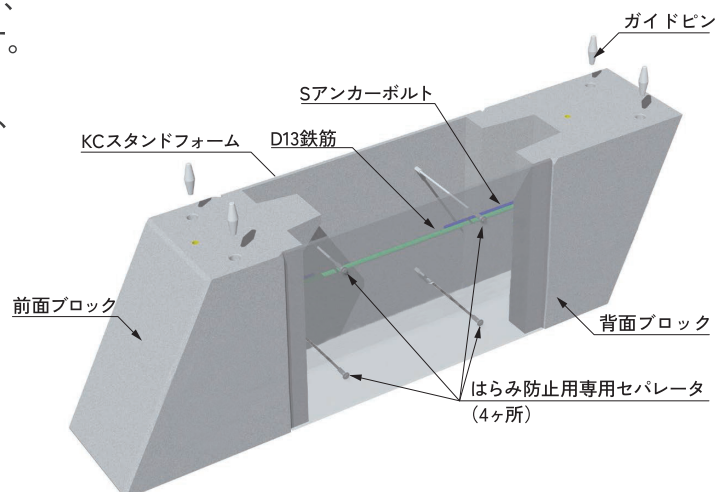


特 長

1. 1段の高さを50cmに設定しているため、ブロック積みとほぼ同時に積み上げることが可能です。
2. サイドブロックを挟んで、擁壁の反対側も随時埋め戻すことが可能です。
3. サイドブロック1個の質量が130kg程度なので、積みブロックを施工する重機で施工可能です。

構造詳細

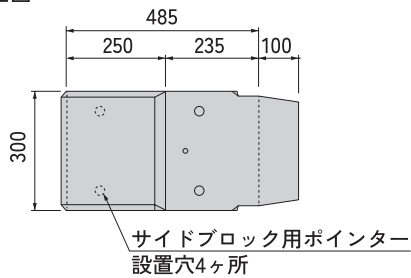
1. 側壁は、現場打ちコンクリートとの付着が良好な「KCスタンドフォーム」を使用します。
2. 「KCスタンドフォーム」の長さ調整カット、セパレータ用穴開けは現場加工となります。
4. 中詰めコンクリートは、製品高さの8割程度打設し、製品の継ぎ目と打ち継ぎ面が合わないにします。
5. 前面・背面ブロックからのアンカーを鉄筋で連結し、一体化を図っています。
6. 上下の位置決めはガイドピンで行います。



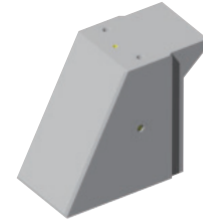
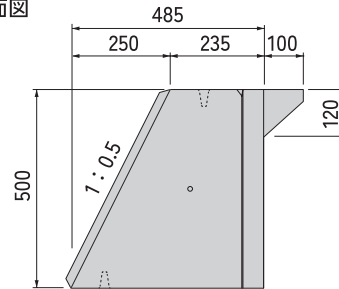
規格寸法図

■ 5分用前面型ブロック 参考質量：130kg

平面図

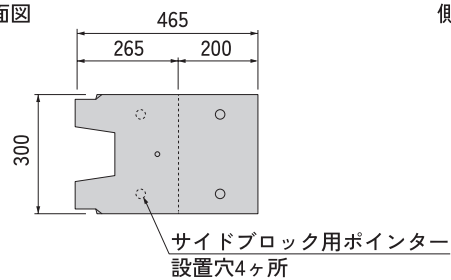


側面図

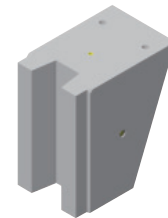
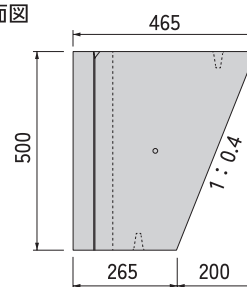


■ 4分用背面型ブロック 参考質量：110kg

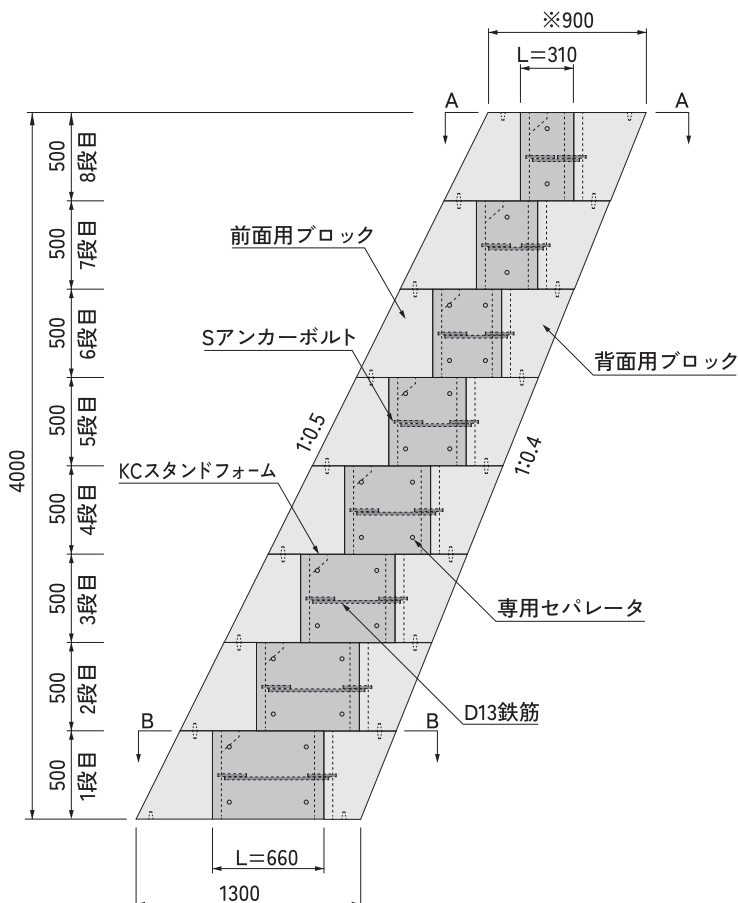
平面図



側面図

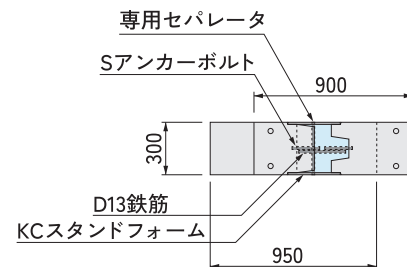


標準施工断面図

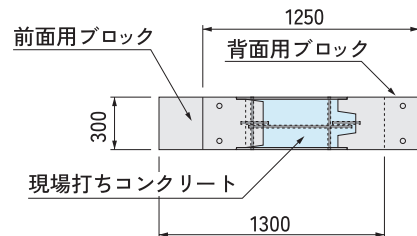


※天端奥行き900未満の場合、中詰コンクリートの打設が困難になりますのでご注意ください。

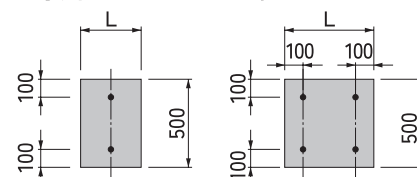
■ A-A断面図



■ B-B断面図



■ 専用セパレータ穴位置図



・専用セパレータ用穴は、M6ボルトが通る径の穴を現場であけます。
・KCスタンドフォームの長さが400mm以上は専用セパを4ヶ所、650mm以上は6ヶ所取り付けます。